



## 国内株式市場の動向と今後の見通し ならびに基準価額の変動に関するお知らせ

### 《国内株式市場の動向》

3月24日の国内株式市場は、新型コロナウイルスの感染者数拡大に伴う世界景気後退への懸念が払拭されないものの、①FRB(米連邦準備理事会)が急遽、米国債、政府支援機関保証付き住宅ローン担保証券の無制限購入や企業等の資金繰り支援策の創設を発表したこと、②米上院で民主党の反対により一旦可決が見送られた景気対策法案について、朝方、民主党のシューマー上院院内総務が法案成立に向けて楽観的な見方を示したこと、③TOPIXのPBRが0.91倍まで低下するなどバリュエーション面での割安感が高まっていたこと、④ドル円が110円台後半の円安水準で推移したことなどを背景に、大きく上昇して始まりました。その後もショートポジションの買戻しなどを巻き込みながら、終日堅調に推移し、日経平均株価は前日比1,204.57円高(+7.13%)の18,092.35円、TOPIX(東証株価指数)が前日比41.09ポイント高(+3.18%)の1,333.10ポイントで引けました。特に日経平均株価は、指数寄与の大きいファーストリテイリング、ソフトバンクグループ、東京エレクトロンの3銘柄だけで444円押し上げた結果、上昇率をみると、日経平均株価がTOPIXを大きく上回りました。

### 《基準価額の変動状況》

国内株式市場の上昇に伴い、以下のファンドが前日比で5%超の上昇となっております。

ファンド名	基準価額	前日比	騰落率
朝日ライフ 日経平均ファンド	7,797	525円	7.22%
朝日ライフ リサーチ 日本株オープン	7,273	348円	5.03%
朝日ライフ DC日経平均ファンド	19,243	1,293円	7.20%

### 《今後の見通し》

新型コロナウイルスの感染者数の拡大が続く中、米国や欧州では国民に一定期間の自宅待機を強要するなど、依然混乱が収束する兆しはみられません。また、国内においても、今夏に開催される予定だった東京オリンピックの延期は避けられないとみています。こうした中、世界景気の先行きに対する警戒感払拭されず、もうしばらくは投資家のリスク回避の動きが続くと考えます。

一方、①FRBや日銀など各国中央銀行が矢継ぎ早に積極的な金融緩和策を打ち出していること、②各国政府が大規模な財政政策を打ち出す姿勢をみせていることなどから、新型コロナウイルスの感染者数の拡大ペースが一段落する兆しが出てくれば、株式市場も徐々に落ち着きを取り戻してくると予想します。

以上

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、「当社」といいます。)が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。2003234

## ■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元金が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくご覧ください。

## ■投資信託に係る手数料等について

[ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

■申込時に直接ご負担いただく費用 …… 申込手数料 上限 5.5%(税抜 5.0%)

■換金時に直接ご負担いただく費用 …… 信託財産留保額 上限 0.3%

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

…… 信託報酬 上限 2.035%(税抜 1.85%)

■その他の費用 …… 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

### 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率等につきましては、朝日ライフ アセットマネジメントが運用するすべての投資信託が徴収するそれぞれの費用のうち、最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 301 号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、「当社」といいます。)が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元金が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。2003234